

吉田 葵の
ミュージック
サブリメント



WATANABE TASUKU
自称「街の腹黒な魔
集者」。東京のFM局
J-WAVE「Radical
DONUTS」では番組
DJを担当中の人物

若きロックスターの快作到着。
大人も楽しめるOKAMOTO'S

成人の日を過ぎましたが、西北にはそれだけで特権があるもの。その特権を120%活かした、ご機嫌にダンサブルなアルバム到着。1990~91年生まれの4人組OKAMOTO'Sです。

パンチ力＆ドライブ感のある明るいロックが身上。なんたってグルーピー。その既視感（既無感ですが）は、大人世代にもスタイルク。業界の開先輩＆スタッフからも可愛がられるのも当然。しかもスタイリッシュ。トーキにはユーモアのセンスもあるときでいるんですから文句の付けようがありません。

プロデューサーにくるりの岸田繁氏を迎えてリード・トラック「HAPPY BIRTHDAY」。サブカル的な有り難味を出した若手女優の二階堂ふみさんがコーラス参加した「Kill Dreams」など、コラボの趣向も注目される曲ばかりだ。

この現を書きながら、OKAMOTO'Sのメンバーが生まれる10年前に「A LONG VACATION」だったんだよなあ……などと思って、しぶしぶ想像の手が止まる2014年1月。最後にこの場を借りて、大滝暁一さんのご冥福を心からお祈りいたします。



OKAMOTO'S Best II-VI
(15日発売 アリオラジャパン)
CDデビュー5周年、現メンバーでの活
動5周年。メジャー選抜5枚目——とい
ふとく「トータル・ザ・ベスト」

今週の「大河馬一さん」最新リマスター音源

1964年の発売から30年を記念した、大潮詠—[EACH TIME 30th Anniversary Edition] 3月21日発売予定。本人によるリマスタリング。総カラオケ付きの2枚組。

遠い国のことではない、日本でも起きている問題

鉄くず拾いの物語

医療ジャーナリスト、写真家 伊藤隼也

出版社写真部勤務を経て、2000年から医療ジャーナリストとして雑誌やテレビで活躍。近著に「オトコの病気・食習慣」(講談社)

手術が必要になる。しかし健保に
導保証を持っていたいために
多額の手術費を請求され
しまう……実際に起こった事
件に憤りを感じた監督が、見
事者である家族に本人役を演
じてもらうという方法で映画化
した作品です。監督が、あくま
でミッションを持って描いてい
ることがよく伝わってきます。
基になつたニュースは僕も
知りませんでしたし、日本一
で知る人はいないでしょ。
あの地域の状況が大変だと理
解していくも、ひとつひとつの
のケースについて僕らは詳
細に知っているわけではない。
でも監督は映画という形で彼
らの人生を垣間見せる」とい

「ひとつひとつの方々には、一人一人の人生があるのだ」と私たちにわからせてくれます。それによって私たちは、この痛みや出来事の痛みを理解できるのです。そこがやはり映画館のすごさです。彼らの子どもたちがいい笑顔をしているのも印象的で救われましたね。この映画と同じようなことは日本でも起きていました。例えば2005年に東京で起きた「駒込商店街焼だらけ」事件。僕がご主人を説得して三人三明で改善を訴えたのです。彼らを亡くしたばかりのご主人を説得するのは本当につらいことでした。が、世の中をよりよく変えたいといふ強い気持ちでお願いしまして。そしてご主人がカメラの

前で訴えるという行動に出たからこそ、その後「妊娠さんや赤ちゃんの救急医療を充実していくこう」という大きくてエネルギーになつた。また日本は皆保険制度ですが、高度な医療に保険がきかない部分があつたり、高額な薬代を負担しなければならないなどで困窮している人もたくさんいます。人の被つた悲しい思いや、許したくないという気持ちを元に社会を変えるエネルギーを出すことがジャーナリズムの使命。だから僕は監督にシンパシーを感じるのである。監督は單なる医療問題を扱うて、「命の大切さ」一人を愛すること」というメッセージを投げかけているのだと思います。

事件の当事者で主人公を演じたナジフがヘンリイ・新宿西口店長主演男優賞を受賞。監督 ダニス・タチヴィッチ／新宿西口店長はか全国競大公開中／74分

